

あ・と・が・き

BTC の運営管理する日高の軽種馬育成調教場では、開場以来、家畜保健衛生所の指導のもと防疫の徹底に努めていますが、さらに家畜伝染病予防法の改正による「飼養衛生管理基準」の見直しに伴い、昨年 10 月から「衛生管理区域」を設定し、入場者等の消毒など、管理基準に基づいた衛生管理の徹底にも努めておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

当センター研修生の全員が道外出身ではありませんが、北海道の厳しい寒さにも負けず、日々研修に励んでいます。今月からは JRA 育成馬での騎乗訓練を開始し、より実践的な段階へと進み、この春の卒業へ向け頑張っております。また、昨年の 12 月からは各牧場等の会社説明会も始まり、就職活動も本格化してきました。

(Y.H.)

「たづな」欄には JRA 日高育成牧場平賀 敦副場長に「経験と科学」について語っていただきました。軽種馬の生産育成を進める上で経験は大切ですが、そこに科学の目を加味し、関係者で共有することが一層の発展につながると思われれます。

シリーズで掲載している「やさしい育成技術」では、JRA 日高育成牧場の頃末憲治専門役に子馬の管理法のうち初期育成調教法の後半部分について分かり易く解説していただきました。このシリーズも今号で一区切りですが、お役に立つことと思います。「調査・研究」では、競走馬の寄生虫について JRA 栗東トレセン競走馬診療所の塩瀬友樹氏に執筆していただきました。競走馬の日常の健康管理の参考にしていただければ幸いです。

「科学の箱馬車」では、分娩予知および泌乳誘発について軽種馬生産地で必要なことを紹介しましたので参考になることと思います。「海外の馬最新情報」では、骨折に関して 2 編紹介しました。また、「馬にみられる病気」では、屈腱炎の発症と予防・治療を中心に解説しました。屈腱炎は減少傾向にあります、難治性疾患であり、少しでも減少することが望まれます。

(T.Y.)